



♡まんまるはーと♡

第10号

認定こども園和光幼稚園
平成28年11月30日
主幹 宮園 貴子



【叱る教育】 どちらも大切【怒らない教育】

私自身、幼稚園教諭となり十数年経ちます。「叱らない先生」「優しい先生」は、子ども時代から憧れる教師像でした。いつも笑顔で、それでいてしっかり指導もできる、そんな先生になれるんじゃないかと、教育実習の時、密かに思っていました。

しかし、実際に新米先生となった時、自分の夢は、見事に打ち砕かれました。優しく元気な子どもたちでしたが、小さなトラブルもたくさんあり、大きな声で注意をしては、焦りと戸惑いの日々でした。

子どもと接するなかで、試行錯誤と失敗を重ねながら、優しく叱らない先生だけがいい先生ではないということに気付きました。

子どもたちは、自分がいけないことをしたら、きちんと叱ってほしいと思っています。

○「怒る」とは、怒り手の感情を外に爆発させること。

○「叱る」とは、相手によりよい方法を教示すること。

子どもはよく困った行動をするものです。それは悪いことかもしれませんが、だからといって悪い子ではありません。「いまの」「目の前の」「言動だけ」を将来を見据えて叱るポジティブな叱り方なら、子どもの自己肯定

感や自尊心を傷つけることなく、伝えたいことすなわち是々非々をしっかりと伝えることができます。

子どもを叱るときは、あくまでも子どものためです。きちんと叱って、何がいけないのか、その場で納得して、同じ過ちはなるべくしないように導いていきます。経験の少ない子どもは、善悪について、親や先生に教えられて学ぶことも多いです。

うんと悪いことをした時は、しっかりと叱り、ちょっと悪い時にはそれなりに叱ることで、社会のルールや人を思いやる気持ちを、少しずつ少しずつ子どもたちは身に付けていきます。

叱る時はきちっと叱るけど、そのあとは長引かせず、一緒に笑うこと、抱きしめることが大切だと気付かされました。

新規採用一年目の多くの失敗や、悩みや葛藤の日々が根拠のない自信と甘い自己評価の殻にこもっていた弱い自分から等身大の自分を見つめる良い機会となりました。

これからも、子どもの豊かな感性に触れながら共に育ち合っていける教師でありたいと思います。



☆ おゆうぎ会 ☆

4日(日)は、子どもたちが楽しみにしている『おゆうぎ会』です。

どうぞ、ご家族揃ってお越しください。子どもたちの可愛く頑張って発表する姿をごゆっくりご覧ください。

☆ 子どものつばやき ☆

教師：「なんでAちゃんは、可愛いのか？」
Aちゃん：「髪の毛を切ったから♪」

髪を可愛く切ってもらったことが、Aちゃんは嬉しかったのでしょね。

